

本書は、旧製品の取扱説明書を電子化したものです。
一部見えにくい箇所がございます。

記載されている内容はすべて販売当時のものです。
仕様や価格などは、その後予告なしに変更されることがあります。
あらかじめご了承ください。

CASIO

2409 * JA

取扱説明書

2409

このたびは、弊社製品をお買い上げくださりまして、誠にありがとうございます。
末長くご愛用いただくために、この説明書をよくお読みいただき、正しくお取り扱い
いただきますようお願い申し上げます。

なお、この説明書は大切に保管し、必要に応じてご覧ください。

本機のお取り扱いで、万一、誤ったボタン操作を行なっても、製品に障害を与える
ことは一切ありません。本機の特長、機能を十分に使いこなしていただくため
にも、ご納得のゆくまでおためしください。

■ 本機の特長

● EL オートライト

暗いところでも時計を傾けると表示を明るく照らします。

● アラーム機能

アラームは5本セットでき、設定した時刻になると電子音が鳴ります。
また、毎正時（00分）に時報を鳴らすこともできます。

● タイマー機能

1秒単位で24時間までの減算計測を行ないます。

● ストップウォッチ機能

1/100秒単位で9999時間59分59秒99（10000時間計）まで計
測できます。

● マルチタイムゾーン機能

現在時刻とは別に海外時刻など5つの時刻をセットできます。


安全上のご注意


絵表示について この注意書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、色々な絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。


⚠ 危険 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。

⚠ 警告 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が想定される内容を示しています。

⚠ 注意 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例  △記号は「気をつけるべきこと」(注意)を意味しています。(左の例は感電注意)

 ○記号は「してはいけないこと」(禁止)を意味しています。(左の例は分解禁止)

 ●記号は「しなければならないこと」(強制)を意味しています。(左の例は電源プラグをコンセントから抜く)

⚠ 警告

本機をスキューバダイビング(アクアラング)に使用しないでください。

※本機はダイバーズウォッチではありません。誤って使用すると、事故の原因となります。



電池の取り扱いについて

本機で使用しているボタン電池を取り外した場合は、誤ってボタン電池を飲むことがないようにしてください。特に小さなお子様にご注意ください。

電池は小さなお子様の手の届かない所へ置いてください。万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

⚠ 注意

お手入れについて

ケース・バンドは汚れからサビが発生し、衣服の袖口を汚すことがあります。ケース・バンドは常に清潔にしてご使用ください。特に、海水に浸した後放置しておくとしサビ易くなります。

⚠ 注意

ご使用にあたって

時計表示の確認は、思わぬ転倒やケガの予防のため、十分に安全が確認された場所で行なってください。特に、道路でのマラソンやジョギング、自転車やバイク・自動車等の運転中は事故の原因になることがありますので、十分にご注意ください。また、第三者への接触による事故防止にも十分にご注意ください。

時計が止まった場合は、速やかに電池を交換してください。

時計着脱の際に、中留で爪を傷つける恐れがありますのでご注意ください。特に、長く伸ばした爪では、中留の操作はおやめください。

思わぬケガやアレルギーによるかぶれを防ぐため、就寝時は時計をはずすなど十分にご注意ください。

幼児を抱いたり、接したりする場合は、幼児のケガやアレルギーによるかぶれを防ぐため、時計をはずすなど十分にご注意ください。

オートライト作動時のご使用について

オートライト作動状態のとき、本機を腕につけて自動車などを運転すると、不用意にライトが点灯し、運転の妨げになり危険ですとおやめください。交通事故の原因となることがあります。

⚠ 注意

かぶれについて

時計の本体およびバンドは、直接肌に接触していますので、使用状態によってはかぶれを起こす恐れがあります。

- ① 金属・皮革に対するアレルギー
- ② 時計の本体およびバンドの汚れ・サビ・汗等
- ③ 体調不良等

- バンドをきつくしめると、汗をかきやすくなり、空気の通りが悪くなりますのでかぶれ易くなります。バンドは余裕をもたせてご使用ください。
- 「抗菌防臭バンド」は汗などによる細菌の繁殖を抑え、においの発生を防ぐもので、皮膚のかぶれを防ぐものではありません。
- 万一、異常が生じた場合は、ご使用を中止し、医師にご相談ください。

分解しないでください

本機を分解しないでください。ケガをしたり、本機が故障する原因となることがあります。



目次

安全上のご注意	表紙裏面
操作のしくみと表示の見方	4
表示照明用 EL バックライトについて	6
アラーム・時報の使い方	8
タイマーの使い方	11
ストップウォッチの使い方	13
マルチタイムゾーン機能について	14
時刻・カレンダーの合わせ方	16

製品仕様	20
ご使用上の注意	21
お手入れについて	23
電池交換について	23

操作のしくみと表示の見方

② ボタンを押すごとに確認音が鳴り、以下の順でモードが切り替わります。

時刻モード

<カレンダー表示>

月・日 (ライト点灯) 曜日 (ライト点灯)

① ボタン

② ボタン (モード切替)

③ ボタン (表示切替)

午後マーク (午前は消灯) 時・分 秒

<マルチタイム表示>

ゾーンマーク

ゾーン2の時刻

④ ボタン

★曜日の見方
 SU:日 MO:月 TU:火 WE:水
 TH:木 FR:金 SA:土

★表示切替について
 時刻モードで、③ ボタンを押すごとに、カレンダー表示とマルチタイム表示が切り替わります。
 ※マルチタイム表示では、マルチタイムゾーンモードで選ばれている時刻を表示します。

★グラフ表示切替について
 カレンダー表示で表示されるグラフには以下の2種類があり、どのモードのときでも、③ ボタンを約2秒間(確認音が2回鳴るまで)押しと切り替わります。

[Aタイプ]	[Bタイプ]
1秒ごとに点灯/消灯します	グラフ部が早く動きます
アラームマーク (アラームONのとき点灯)	※時・分は回転するように切り替わります。

②

アラームモード

モードマーク

アラーム番号

モード名

アラーム時刻

タイマーモード

モードマーク

モード名

タイマー時間

マルチタイムゾーンモード

ゾーン2の時刻

ゾーンマーク

モード名

モードマーク

現在時刻

ストップウォッチモード

モード名

モードマーク

計測値

②

②

②

②

表示照明用 EL バックライトについて

本機の表示部にはELパネル（エレクトロルミネッセンスパネル）が内蔵されており、暗いときに表示を明るくして見ることができます。また、時計を傾けると文字板が発光するオートライト機能もあります。

■ ボタンを押して発光させる ～手動発光～

どのモードのときでも、

① ボタンを押します

→ ① ボタンを押すと約 1.5 秒間文字板が発光します。



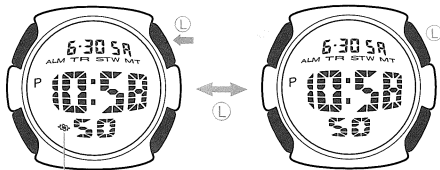
※オートライトOFFのときも①ボタンを押すと発光します。

■ 時計を傾けて発光させる ～オートライト機能～

オートライトは、ボタンを押さなくても文字板が発光する便利な機能です。暗い場所で、時刻やストップウォッチの計測値などを見るときに大変便利です。

オートライト機能では、どのモードのときでも、時計を傾けるだけで文字板が約 1.5 秒間発光します。

準備：どのモードのときでも、① ボタンを約 2 秒間押し続けて、オートライト ON (点灯) にします。



オートライトONマーク
<オートライト作動します> <オートライト作動しません>

※オートライトONのとき、① ボタンを約 2 秒間押し続けるとオートライト OFF (消灯) に戻ります。

● 文字板を発光させる



※オートライト機能を使用するときは、時計を「手首の外側」にくるようにつけてください。

※文字板の左右（3時～9時方向）の角度を±15°以内にしておいてください。15°以上傾いていると発光しにくくなります。



<EL 発光についてのご注意>

- 直射日光下では発光が見えにくくなります。
- 発光中にアラームなどが鳴り出すと発光を中断します。
- 発光中に時計本体より音が聞こえることがありますが、これはELパネルが点灯する際の振動音であり、異常ではありません。

<オートライトご使用時の注意>

- オートライトが作動するのは、“点灯”を点灯させてから約 5 時間です。それ以降は電池消耗防止のため、自動的に“点灯”が消え、オートライトOFFになります。
※引き続きオートライトを作動させたいときは、再度①ボタンを約2秒間押しして“点灯”を点灯させてください。ただし、オートライトを頻繁に使用すると電池寿命が短くなりますのでご注意ください。（20 ページ「製品仕様」参照）
- 時計を傾けたとき、文字板の発光が一瞬遅れることがあります。異常ではありません。
- 文字板発光後、時計を傾けたままにしておいても、発光は約 1.5 秒間のみとなります。
- 時計を「手首の内側」につけていたり、腕を振ったり、腕を上へあげたりしても発光することがあります。オートライトを使用しないときは必ずOFFにしておいてください。
- ※時計を「手首の内側」につけるときはできるだけオートライトをOFFにしてご使用ください。
- 静電気や磁気などでオートライトが動作しにくくなり、発光しないことがあります。このときはもう一度水平状態から傾けなおしてみてください。なお、それでも発光しにくいときは、腕を下からふりあげてみると発光しやすくなります。

アラーム・時報の使い方

② ボタンを押して、アラームモードにします。

本機には、時分を設定できるアラームが5本あります。設定した時刻になると10秒間の電子音で知らせてくれます。また、毎正時(00分)に時報を鳴らすこともできます。

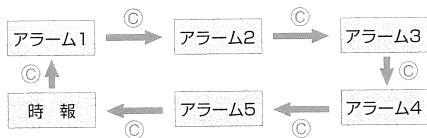
アラーム時刻のセット

(1) アラーム番号を選ぶ

アラームモードのとき、
◎ ボタンを押します

⇒ ◎ ボタンを押すごとに以下の順で表示が切り替わりますので、セットしたいアラーム番号を選びます。

※本機にはアラームが5本(アラーム1~5)あり、アラーム5のみ電子音が異なります。



(2) セット状態にする

Ⓐ ボタンを約2秒間(確認音が2回鳴るまで)押します

⇒ 「時」が点滅します。
※ このとき、アラームが自動的にONになり、該当のアラームマークが点灯します。



(3) セット箇所を選ぶ

Ⓑ ボタンを押します

⇒ Ⓑ ボタンを押すごとに点滅箇所が「時」⇔「分」で移動しますので、合わせたい箇所を点滅させます。



(4) 点滅箇所のセット

◎ ボタンを押します

⇒ ◎ ボタンを押すごとに点滅箇所の数字が進みます。
※ 押し続けると早送りします。



(3)~(4)の操作を繰り返して、アラーム時刻を合わせます

※「時」のセットのとき午前/午後(P)、または24時間制(24)にご注意ください。

※基本時刻を24時間制にしているときは、アラーム時刻も自動的に24時間制で表示されます。

(5) セットを終わる

Ⓐ ボタンを押します

⇒ 点滅が止まり、セット完了です。

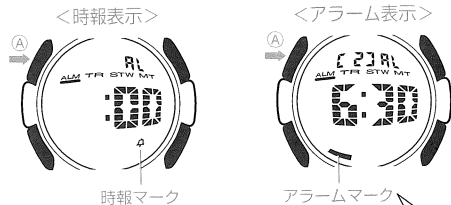
※ 点滅表示のまま2~3分間すると、自動的に点滅が止まります。

アラーム・時報のON/OFF設定

準備: アラームモードのとき、◎ ボタンを押して、鳴らしたいアラーム番号を選びます。また、時報を鳴らしたいときは時報表示を選びます。

Ⓐ ボタンを押します

⇒ Ⓐ ボタンを押すごとに、マークが点灯/消灯します。それぞれのマークが点灯しているときがONとなり、アラーム・時報が鳴ります。



アラームONにすると、
該当のアラームマーク
が点灯します。



■ 鳴っているアラーム音を止めるには
いずれかのボタンを押すと音が止まります。

■ モニターアラーム

アラームモードのとき、◎ ボタンを約2秒間押し続けると、押し続けている間、アラーム音が鳴ります。
(時報表示のときは、時報音が鳴ります)

タイマーの使い方 ㊸ ボタンを押して、タイマーモードにします。

タイマーは1分単位で24時間までセットできます。セットした時間を経過(タイムアップ)すると10秒間の電子音が鳴ります。
また、タイムアップ後も自動的に計測を繰り返すオートリピートタイマーとしても使えます。

■ タイマー方法について

本機のタイマーは以下の2種類があり、使い方に合わせてお好きな方を選ぶことができます。(タイマー方法の選び方については、12ページ参照)

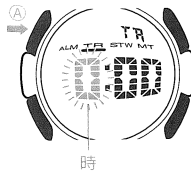
- リピートタイマー(繰り返し計測)
タイムアップすると計測が止まります。約10秒後にタイマー時間表示に戻ります。
- オートリピートタイマー(自動繰り返し計測)
タイムアップしても、計測ストップするまで自動的に同じ時間を繰り返し計測します。
※オートリピートタイマーを選ばると“AUTO-TR”マークが点灯します。

■ タイマー時間のセット

(1) セット状態にする

タイマーモードのとき、
㊸ ボタンを約2秒間押し
します

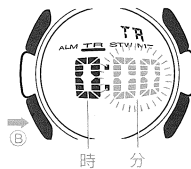
⇒ 「時」が点滅します。



(2) セット箇所を選ぶ

㊹ ボタンを押します

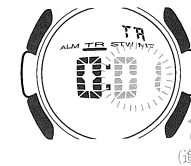
⇒ ㊹ ボタンを押すごとに点滅箇所が「時」↔「分」で移動しますので、合わせた箇所を点滅させます。



(3) 点滅箇所のセット

◎ ボタンを押します

⇒ ◎ ボタンを押すごとに点滅箇所の数字が進みます。
※押し続けると早送りします。



(2)~(3)の操作を繰り返して、タイマー時間をセットします

※タイマー時間を24時間に設定するときには表示を“0:00”にします。

★タイマー方法の選び方

表示が点滅しているとき、

① ボタンを押します

⇒①ボタンを押すごとに、リピートタイマーとオートリピートタイマー(“AUTO-TR”点灯)が切り替わります。



オートリピートタイマーのとき
“AUTO-TR”点灯

(4)セットを終わる

② ボタンを押します

⇒点滅が止まり、セット完了です。

※点滅表示のまま2~3分間すると、自動的に点滅が止まります。

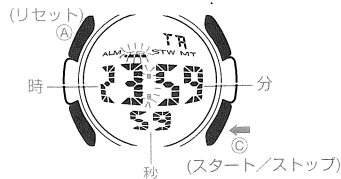
■タイマーの使い方

タイマーモードのとき、◎ボタンを押します

⇒◎ボタンを押すごとに、計測がスタート/ストップします。

※計測は1秒単位で行ないます。

※タイマー計測中は、“TR”マークが点滅します。(他のモードに切り替えても点滅し続けます)



★計測ストップ後③ボタンを押すと、計測前の表示に戻ります。

★ロスタイムがあるときは、◎ボタンでストップ後、もう一度◎ボタンを押すと表示タイムに引き続き計測を始めます。

■タイムアップになると

セットした時間を経過すると、10秒間電子音が鳴り、タイムアップを知らせます。

■鳴っている電子音を止めるには

いずれかのボタンを押すと音が止まります。

ストップウォッチの使い方

◎ボタンを押して、ストップウォッチモードにします。

ストップウォッチは1/100秒単位で9999時間59分59秒99(10000時間計)まで計測できます。計測範囲を超えると、自動的に0に戻って計測し続けます。

■計測のしかた

ストップウォッチモードのとき、◎ボタンを押します

⇒◎ボタンを押すごとに、計測がスタート/ストップします。

※ストップウォッチ計測中は、“STW”マークが点滅します。(他のモードに切り替えても点滅し続けます)



<表示の見方>

★計測中に③ボタンを押すと、表示は止まりますが、内部では計測を続けるスプリット計測となります。(“SPLIT”表示)

※スプリット計測中にモードを切り替えると、スプリットは解除されます。

★計測終了後③ボタンを押すと、計測値が0に戻ります。(リセット)

●通常計測



<積算計測>

ロスタイムのあるときは、ストップ後リセットせずに◎ボタンを押して再スタートすれば、表示タイムに引き続き計測を始めます。

●スプリットタイム(途中経過時間)の計測



●1・2着同時計測



マルチタイムゾーン機能について

② ボタンを押して、マルチタイムゾーンモードにします。

本機では、現在時刻とは別に海外時刻など、5つの時刻をセットできます。

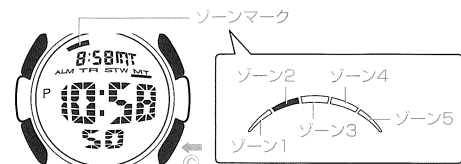
マルチタイムを見る

マルチタイムゾーンモードのとき、③ ボタンを押します

⇒ ③ ボタンを押すごとに、以下の順で表示が切り替わりますので、見たい表示を選びます。

※該当のゾーンマークが点灯します。

※このモードで表示させている時刻は、時刻モードでも簡単に見ることができます。(4ページ「操作のしくみと表示の見方」参照)



マルチタイムの合わせ方

(1) 表示を選ぶ

マルチタイムゾーンモードのとき、③ ボタンを押します

⇒ ③ ボタンを押すごとに、表示が切り替わりますので、セットしたい表示を選びます。



(2) セット状態にする

④ ボタンを約2秒間押します

⇒ 「時」が点滅します。



(3) セット箇所を選ぶ

⑤ ボタンを押します

⇒ ⑤ ボタンを押すごとに点滅箇所が「時」↔「分」で移動しますので、合わせたい箇所を点滅させます。



(4) 点滅箇所のセット

⑥ ボタンを押します

⇒ ⑥ ボタンを押すごとに点滅箇所の数字が進みます。※押し続けると早送りします。



(3)～(4)の操作を繰り返して、マルチタイムを合わせます。

※「時」のセットのとき午前/午後 (P), または24時間制 (24) にご注意ください。

※基本時刻を24時間制にしているときは、マルチタイムも自動的に24時間制で表示されます。

(5) セットを終わる

⑦ ボタンを押します

⇒ 点滅が止まり、セット完了です。

※点滅表示のまま2～3分間すると、自動的に点滅が止まります。

時刻・カレンダーの合わせ方

以下の操作は時刻モードで行ないます。

電池交換後などで、時刻やカレンダーが合っていないときは、以下の方法でセットします。

■「秒」合わせ…30秒以内の遅れ/進みの修正

(1) セット状態にする

時刻モードのとき、**Ⓐ** ボタンを約2秒間押しします

⇒「秒」が点滅します。



(2) 時報に合わせて **Ⓒ** ボタンを押します

⇒「00秒」からスタートします。

※ 秒が00～29のときは切り捨てられ、30～59のときは1分繰り上がって「00秒」になります。(時報は「時報サービス117番」が便利です)



(3) セットを終わる

Ⓐ ボタンを押します

⇒点滅が止まり、セット完了です。

※ 点滅表示のまま2～3分間すると、自動的に点滅が止まります。

■「時刻・カレンダー」合わせ

(1) セット状態にする

時刻モードのとき、**Ⓐ** ボタンを約2秒間押しします

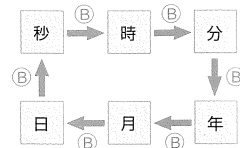
⇒「秒」が点滅します。



(2) 「時刻・カレンダー」合わせ

a. **Ⓑ** ボタンを押します

⇒ **Ⓑ** ボタンを押すごとに点滅箇所が以下の順で移動しますので、合わせたい箇所を点滅させます。



b. **Ⓒ** ボタンを押します

⇒ **Ⓒ** ボタンを押すごとに点滅箇所の数字が進みます。
※ 押し続けると早送りします。



a.～b.の操作を繰り返して、時刻・カレンダーを合わせます

※「時」のセットのとき午前/午後 (P)、または24時間制 (24) にご注意ください。

※「年」は2000～2039年の範囲内でセットできます。正しくセットすると、自動的に曜日が算出されます。なお、カレンダーはうるう年および大の月、小の月を自動判別するフルオートカレンダーですので、電池交換時以外の修正は不要です。

★ 12/24 時間制表示切替

表示が点滅しているとき、**Ⓓ** ボタンを押すごとに12時間制表示と24時間制表示とが切り替わります。

(3) セットを終わる

Ⓐ ボタンを押します

⇒点滅が止まり、セット完了です。

※ 点滅表示のまま2～3分間すると、自動的に点滅が止まります。

memo

memo

製品仕様

水晶発振周波数: 32,768Hz

精度: 平均月差± 30 秒以内

基本機能: 時・分・秒、
午前/午後(P)/24時間制(24)表示、
月・日・曜日、
フルオートカレンダー(2000~2039年)、
マルチタイム表示、グラフ表示切替

アラーム機能: 時刻アラーム
5本
セット単位=時・分
電子音=10秒間
時報 毎正時に電子音で報時

タイマー機能: セット単位=1分
計測単位=1秒
計測範囲=24時間
タイムアップを10秒間の電子音で報知
リピートタイマー/オートリピートタイマー

ストップウォッチ機能: 計測単位=1/100秒
計測範囲=9999時間59分59秒99
(10000時間計)
計測機能=通常計測、積算計測、
スプリット計測、
1・2着同時計測

マルチタイムゾーン機能: セット本数=5本
表示内容=時・分

その他: 自動復帰機能、
12/24時間制表示切替、
モニターアラーム、
EL(エレクトロルミネッセンス)バックライト、
ELオートライト

主要回路素子: 音叉型高性能水晶振動子
CMOS-LSI

使用電池: CR-2025 (電池別途販売)

電池寿命: 約10年
(電子音10秒間/日、ライト1.5秒間/
日使用した場合)

ご使用上の注意

■防水性

● 表面または裏蓋にWATER RESISTまたはWATER RESISTANTと表示されているもの。

	BAR無し	5BAR	10BAR	20BAR
洗顔、雨	○	○	○	○
水仕事、水泳	×	○	○	○
ウインドサーフィン	×	×	○	○
スキndaビング(素潜り)	×	×	○	○

※ BARは気圧の意味で、防水性の高さを表わします。

※ 専門的な潜水=スキューバダイビング(アクアラング)でのご使用はお避けください。

- 表面または裏蓋にWATER RESISTまたはWATER RESISTANTと表示されていないもの。
防汗構造になっておりませんので、多量の汗を発生する場合、もしくは湿気の多い場所でのご使用や直接水に触れるようなご使用はお避けください。
- 防水構造の機種でも、水中でのボタン操作は行なわないでください。
- 防水構造の機種はシャワー程度の温水では使用できますが、入浴等で長時間使用することはお避けください。
- 海水に浸したときは真水で洗い、塩分や汚れをふきとってください。
- 防水性を保つために定期的(2~3年を目安に)なパッキン交換をおすすめします。
- 電池交換の際、防水検査を行ないますので、必ずお買い上げの店あるいは最寄りのカシオテクノ・サービスステーションにお申し付けください。(特殊な治具を必要とします)
- 防水時計の一部にデザイン上皮バンドを使用しているモデルがありますが、皮バンド付の状態、水仕事・水泳など直接水のかかるご使用はお避けください。

■バンド

- バンドは指一本が入る程度の余裕をもたせてご使用ください。
- 樹脂バンドも皮バンド同様、日々の使用により劣化し、切れたり折れたりする場合があります。バンドにヒビなどの異常がある場合は、必ず新しいバンドと交換してください。そのときは、お買い上げ店または最寄りのカシオテクノ・サービスステーションにバンド交換をお申し付けください。保証期間内であっても実費にて申し受けます。
- 樹脂バンドの表面にシミ状の模様が発生することがありますが、人体および衣服への影響はありません。また、布等で簡単にふきとることができます。

■温度

- 自動車のダッシュボード等の高温になる所に放置しないでください。また、寒い所に長く放置しないでください。遅れ、進みが生じたり、止まったりすることがあります。
- +60℃以上の所に長時間放置すると液晶パネルに支障をきたすことがありますのでご注意ください。

■ショック

通常の使用状態でのショックや軽い運動(キャッチボール、テニスなど)には十分耐えますが、落としたり、強くぶつけたりすると故障の原因になります。

■磁気

- 時計機能には影響ありません。

■薬品類

- 水銀や化学薬品(シンナー、ガソリン、各種溶剤、またはそれら含有しているクリーナー、接着剤、塗料、薬剤、化粧品類)が付着すると、ケース、バンドなどに変色や破損を生ずることがありますのでご注意ください。

■保管

- 長期間ご利用にならないときは汚れ、汗、水分などをふきとり、高温、多湿の場所を避けて保管してください。

■蛍光商品のお取り扱いについて

蛍光部品のケース/バンドを使用しているものは、以下の点にご注意ください。

- 長時間、直射日光に当てますと、色あせする場合があります。
- 長時間、濡れたままにしておくとも色が落ちるおそれがありますので、濡れているときはすぐに水分をふきとって、乾かしてください。
- 長時間、他の商品と密着させたり、濡れたまま他の商品と一緒にしておくとも、他の商品に色が移行することがありますので、濡れているときはすぐに水分をふきとり、密着保存を避けてください。
- プリントがしてある場合は、プリント部分を強くこすると他の部分に色がつくことがあります。

■塗装商品のお取り扱いについて

塗装部品を使用しているものは、以下の点にご注意ください。

- 塗装部品は使用状況（過度の外力、連続したこすれ、衝撃等）により磨耗したり、色落ちすることがあります。
- 塗装部品の交換は、最寄りのカシオテクノ・サービスステーションにお申し付けください。実費にて申し受けます。

■液晶パネルの交換について

液晶パネルは約7年を過ぎますと数字や文字が読みにくくなる場合があります。そのときはお買い上げ店またはカシオテクノ・サービスステーションに交換をお申し付けください。実費にて申し受けます。

■ELパネル（表示照明部）の交換について

表示照明用として本機に使用しているELパネル（エレクトロルミネッセンスパネル）は、長期間使用しますと明るさが弱くなり、光が暗く見える場合があります。このようなときにはお買い上げ店または最寄りのカシオテクノ・サービスステーションに交換をお申し付けください。実費にて申し受けます。

お手入れについて

■お手入れのしかた

- 時計も衣服同様、直接身につけるものです。本体ケースやバンドの汚れ、汗・水分などは吸湿性のよい柔らかい布でふきとり、常に清潔にご使用ください。
- 金属バンドは、時々、部分洗いをすることをおすすめします。部分洗いの際、時計本体に水がかからないようにしてください。非防水時計の場合は故障の原因となり、また防水時計でも石けん水により防水性が損われることがあります。

■お手入れを怠ると

- 「サビ」
 - ステンレススチールはサビにくい性質ですが、汚れによりサビが発生します。
 - ※ 汚れにより酸素が断られると、表面の酸化被膜が維持できなくなり、サビが発生します。
 - 表面はきれいでも、すきまに付着した汚れやサビがしみ出して、衣類の袖を汚すことがあります。
- 「劣化」
 - 樹脂バンドは汗などの水分で濡れたままにしておいたり、湿気の多い場所に保管すると、劣化が早くなり、切れたり折れたりすることがあります。
- 「かぶれ」
 - 皮膚の弱い方やアレルギー体質の方は、かぶれたりすることがあります。特に、皮バンドや樹脂バンドをお使いの方は、こまめにお手入れをするか、金属バンドのご使用をおすすめします。
 - 万一、かぶれた場合には、そのバンドの着用を中止し、皮膚科の専門医にご相談ください。

電池交換について

■最初の電池

- 工場出荷時にモニター用電池が組み込まれておりますので、記載された電池寿命に満たないうちに切れることがあります。
 - ※ モニター用電池とは時計の機能や性能をチェックするための電池のことで、時計本体価格に電池代は含まれておりません。
 - ※ 電池交換の場合は保証期間内でも有料となります。

■消耗

- 電池が消耗しますと「時刻の狂いが目立ったり」「表示が見にくくなったり」「消えたり」します。
- 消耗した電池を使っていると故障の原因になりますので、お早めに交換してください。

■電池交換

- 電池交換は必ずお買い上げ店または最寄りのカシオテクノ・サービスステーションにお申し付けください。
- 電池は必ず当社指定の専用電池と交換してください。指定以外の電池を使用しますと故障の原因となる場合があります。
- 電池交換の際、防水検査を行ないません。（防水検査は別途有料となります）